

議定

特別報酬審

と議会議修正

今回は、財政状況から米子市と類似した「他都市」を参考に十二％減額し、月額四十万円の答申となった。

議会修正は、現行から五％削減（四十七万五千元）をベースとし、答申の月額四十四万円は尊重し、市長と同様に市長任期まで自主的に減額することを決めた。

この、議会修正に「県下
高い報酬」との批判がある。
「議員報酬」を、何と比較し
高いと捉えるのか、税金に占
める割合で検証してみた。

法定数 34	米子市	出雲市
議員数	30人	34人
報酬月額	440,000円	441,000円
議員経費(年)	24,619万円	31,628万円

報酬額が同じでも、税金に占める議員経費の割合は、議員定数 4 名減の米子市が出雲市より年間 7,000 万円も少ない。

議員報酬の適正な額！

議会の質向上と不可分

鳥取市、松江市と月額が同額となる四十七万五千円をベースにした場合、税に占める議員経費は、出雲市の四十四万円と比べても、米子市は、年間五千万円も少ない。議員報酬の比較は、月額をとるか、税に占める割合をと



財政再建
——と議員報酬——

ゴミ袋の有料化、窓口手数料の値上げ等と一般職員の賃金の引き下げ。同時に、特別職と議員の報酬引き下げ、議員定数の削減を断行。

これらは、議会を含め「財政再建」に向けた行政改革の一体的な取り組みである。

議員だけが自分の取り分をしっかり確保しているという批判は中傷ではない。議会の議員は、所得の高い人も、所得の低い人の代表も選ばれる。

るかで議論が分かれる。

市議会は、議会の質的向上をめざし、月額より議員定数の削減を図って税に占める議員経費の減額を選択した。

今、議会は量より質の向上が求められている。その一つに、「議員報酬」もある。



渦中に活を求めて！健全な市民社会は、健全な民主主義に宿る

建設的な意見！ ——米子を変える

議会経費を市場経済論で斬ることも、財政再建で議員報酬を「揶揄」する意見も排他的で建設的ではない。

議会の質は、選良を選ぶこと。議会経費は、議員定数の削減が最も効果的である。

選良たる者は、古今を問はず「志」を高く掲げて挑むことを誇りにしている。

市民の良識ある審判に「議会の志」が委ねられている。議会も、過去の「名譽職」にとらわれる時代は去った。

行財政改革に、借地料問題がある。年間八千万円の過払いは、窓口手数料の値上げや議員報酬の削減どころではない。このままでは、向う十年間で八億円のムダ。

財政再建は、ムタな歳出を
改め、財政収入を増やす施策
を積極的に展開すること。

この為には、議員の専門化と市長の強力なリーダーシップが求められている。